

ドレミファ器楽

フルスコア

SK-109

モーツァルト

アイネ・クライネ・ナハトムジーク (第2・3楽章)

小島里美 編曲

「アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク」という長いタイトルで、よく知られているが、日本名では「小夜曲」という。「夜曲」とは要するに、日の暮れた頃、親しい人々が集まって奏する楽しい音楽、古くは、愛情を捧げたいと思う人の窓辺で奏された音楽、を指していた。

この有名な2楽章は「ロマンス」と名付けられ、まさに後者の光景が目に見え、旋律がテーマになっている。3楽章は、簡潔なメヌエット(舞曲)である。

(演奏上の注意)

2楽章: メロディーを大切に。16分音符もあわてず丁寧に奏する事。打楽器群は常に控え目に。

(1楽章同様省いてもよい) ①から少し躍動的に。ピアノのリズム感が大切。右手左手交互にバランスよく奏するコツを覚えて欲しい。鍵盤ハーモニカとテナー・バスアコの旋律の対比がよく分るようにする事。エンディングは指揮者の解釈で、rit. するなど自由である。

∞ (モルデンド) の演奏法



鍵盤ハーモニカに出てくるモルデントは出きる生徒だけで結構です。

3楽章: リコーダーは低音を f で吹くと音がひっくり返り易いので、f といっても丁寧に。トリオはメロディーを美しく浮き上がらせるように。

尚、この曲には表紙の編成表に変更があり、小太鼓の代わりにティンパニーが加わっている。

アコーディオン、鍵盤ハーモニカ、及び木琴、鉄琴に於て和音が書かれてある箇所は、和音弾きをせず、各々が一つずつ音を弾き、和音をつくって下さい。

Andante

フルート
(無くても演奏可能)

ソプラノ
リコーダー

鍵盤
ハーモニカ

ソプラノ
アコーディオン

アルト
アコーディオン

テナー
アコーディオン
(オクターブ上に記譜)

バス
アコーディオン

木
琴

鉄

モーツァルト
アイネ・クライネ・ナハトムジーク
(第2楽章)

鍵盤ハーモニカ

小島

Andante

